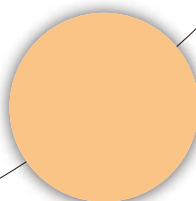
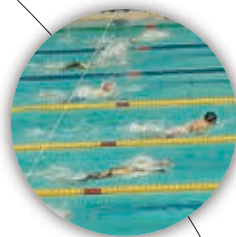
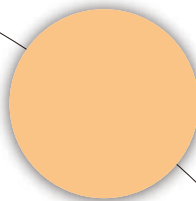


PASSION for SPORTS

いつでも どこでも いつまでも

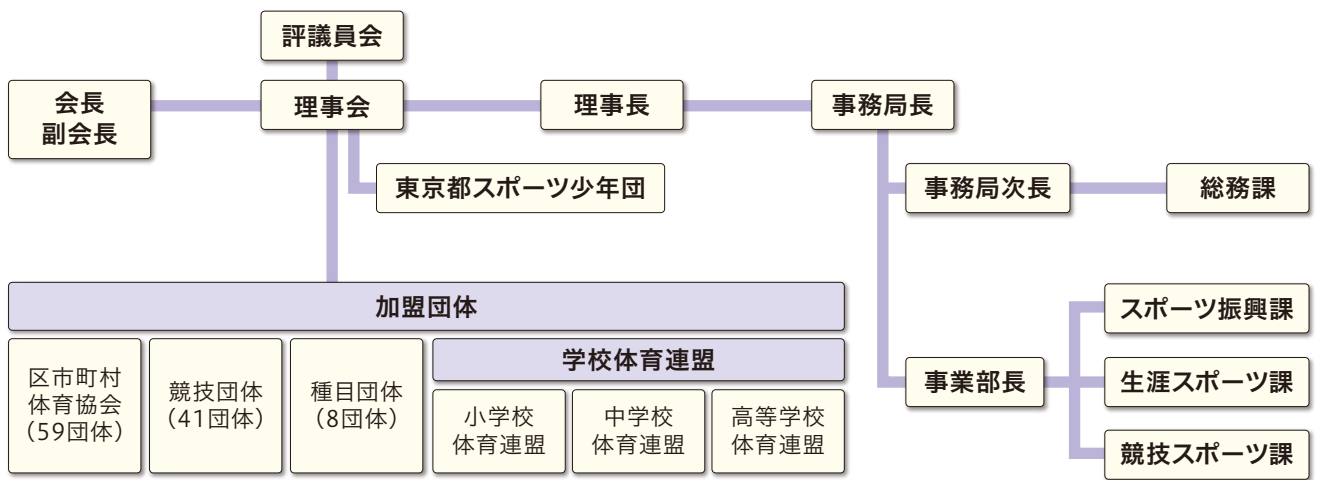
公益財団法人 東京都体育協会



目的

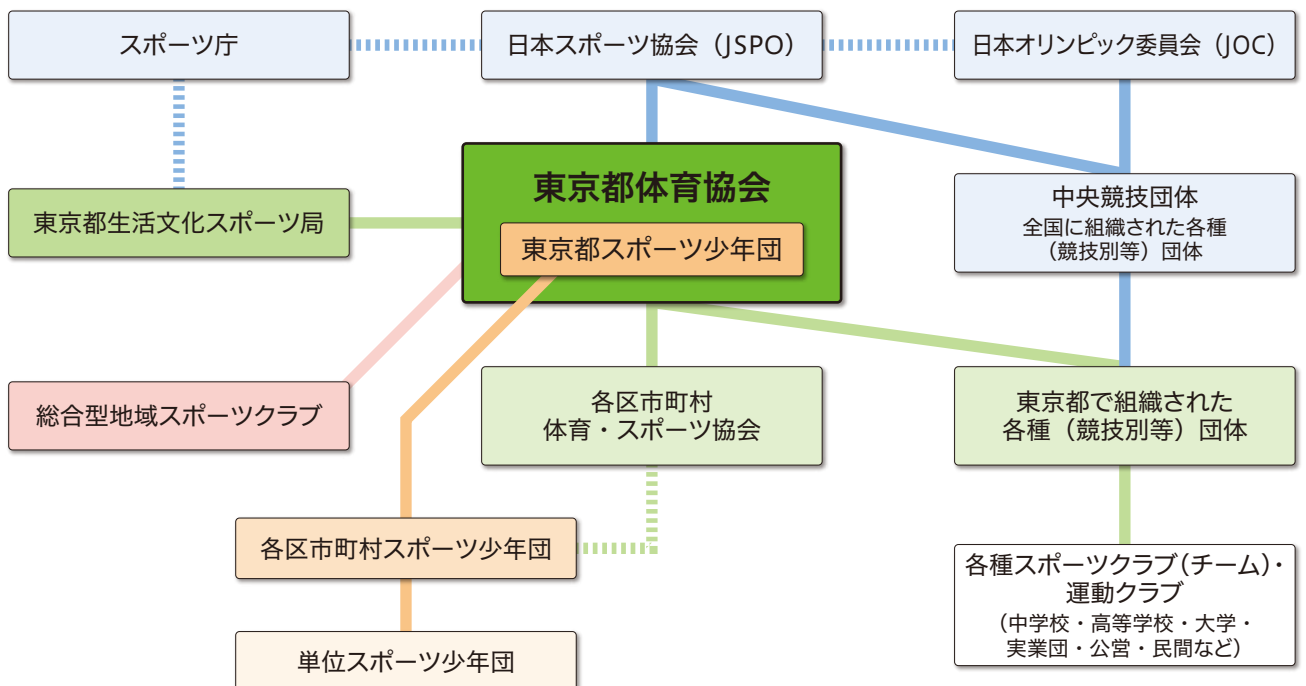
東京都体育協会は、東京都におけるスポーツの統一組織として、
スポーツを振興し、都民の体力向上及び健康増進を図り、豊かな人間性を育み、
競技スポーツを発展させることを目的としています。

東京都体育協会組織図



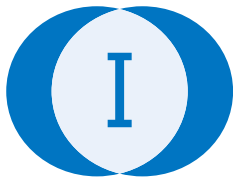
※加盟団体数は令和4年4月1日現在

東京都体育協会を中心としたスポーツ界の組織



沿革

スポーツ界等の動向		東京都体育協会の動向
	1943年 (昭和18年)	東京都体育会設立
	1947年 (昭和22年)	「第1回憲法施行記念都民体育大会」を開催
	1949年 (昭和24年)	東京都体育協会に改称 第4回東京国体開催
	1956年 (昭和31年)	法人格取得〔(財)東京都体育協会〕
	1959年 (昭和34年)	第14回東京国体開催
日本スポーツ少年団創設	1962年 (昭和37年)	
	1963年 (昭和38年)	東京都スポーツ少年団創設
東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催	1964年 (昭和39年)	
	1993年 (平成5年)	東京都体育協会創立50周年
	2006年 (平成18年)	ジュニア育成地域推進事業開始
東京マラソン開始	2007年 (平成19年)	
2016東京オリンピック・パラリンピック 競技大会招致活動(2008～2009)	2008年 (平成20年)	
	2009年 (平成21年)	ジュニアアスリート発掘・育成事業開始 (現 トップアスリート発掘・育成事業)
	2010年 (平成22年)	第68回東京国体開催が日本体育協会理事会で決定
東日本大震災発生 「スポーツ基本法」施行 日本体育協会・日本オリンピック委員会創立100周年	2011年 (平成23年)	スポーツを通じた復興支援事業開始
東京2020オリンピック・パラリンピック 競技大会招致活動(2012～2013) 東京2020オリンピック・パラリンピック 競技大会開催決定	2012年 (平成24年)	公益財団法人へ移行〔(公財)東京都体育協会〕 都民体育大会・東京都障害者スポーツ大会合同開会式開始 シニアスポーツ振興事業開始
	2013年 (平成25年)	スポーツ祭東京2013開催(第68回国民体育大会) 東京都体育協会創立70周年 東京都スポーツ少年団創設50周年 シニア健康スポーツフェスティバルTOKYO開始 全国健康福祉祭(ねんりんピック)派遣開始
スポーツ庁発足	2015年 (平成27年)	
第2期スポーツ基本計画 策定	2017年 (平成29年)	
東京都スポーツ推進総合計画 策定	2018年 (平成30年)	
ラグビーワールドカップ2019日本大会開催	2019年 (平成31年)	東京都体育協会事務局を岸記念体育会館から JAPAN SPORT OLYMPIC SQUAREへ移転
新型コロナウイルス感染症 世界的な感染拡大により 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会1年延期	2020年 (令和2年)	
東京2020オリンピック・パラリンピック 競技大会開催	2021年 (令和3年)	
第3期スポーツ基本計画 策定	2022年 (令和4年)	



競技スポーツの強化と推進に関する事業

国体推進事業

国民体育大会関東ブロック大会及び国民体育大会へ東京都選手団(約800名)を派遣しています。また、東京都選手団を選考・決定するために、各競技別に予選会を実施しています。



天皇杯(男女総合優勝)

19回獲得

皇后杯(女子総合優勝)

26回獲得

(2021年時点)



競技力向上事業

国体東京都代表候補選手、ジュニア選手、監督、コーチ等指導者を対象に、競技力の向上を目的とし、以下の事業を行っています。

- 国体候補選手強化事業 ●ジュニア選手育成強化事業
- オリンピック等日本代表候補選手強化事業
(戦略的競技力強化事業)
- 指導者育成・スポーツ専門人材活用事業 ●国体選手健康調査チェック等事業



トップアスリート発掘・育成事業

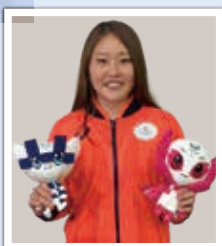
オリンピック等の国際大会で活躍できる「東京育ち」のアスリートの育成に向けて、才能あるジュニア選手を「見つけ・育て・活かす」ことを目的に実施しています。

第2期修了生が日本代表選手として東京2020オリンピック競技大会に出場しました。



〈対象競技〉

ボート、ボクシング、レスリング、ウェイトリフティング、自転車、カヌー(スプリント)、アーチェリー



久保田愛夏選手
トップアスリート第2期生。東京2020オリンピック競技大会にカヌー(スプリント)競技で出場。

～トップアスリート発掘・育成事業 修了生のインタビュー～

この事業に応募したきっかけ

中学校で募集要項が配られた時に、友達から誘われたのがきっかけです。何かやりたい競技があったわけではなく、この事業そのものに興味を持ったので応募しました。

この事業に参加して良かったこと

カヌーに出会えたことです。カヌーを頑張ってきたおかげで、高校、大学と進むことができたし、大学卒業後もカヌーを続けるための環境に行くことが決まりました。カヌーを軸に考えたことで、進むべき道も見えましたし、この事業に参加してカヌーに出会えて良かったです。

Ⅱ

生涯スポーツの 振興と普及に関する事業

生涯スポーツの推進

●都民体育大会

夏季(2競技)、冬季(2競技)、春季(28競技)の3季を一大会として開催し、区市町村対抗方式の総合得点により優勝を競います。毎年、約15,000名が参加する都内で最大級のスポーツ大会です。

男子優勝地区には高松宮殿下記念杯、女子優勝地区には高松宮妃殿下記念杯が授与されます。



●都民生涯スポーツ大会

スポーツ愛好者を対象とした大会で、参加者が実力に関係なく、日頃の練習の成果を発揮する中で、スポーツを通じて親睦を深めることを目的に、毎年秋に17競技を開催しており、約5,500名が参加しています。

シニアスポーツの振興

●シニアスポーツ振興事業

東京都の高齢者のスポーツ実施率の向上と、健康維持・増進に寄与するため、区市町村の体育・スポーツ協会等が主催となり、60歳以上のシニア世代を対象としたスポーツ競技会、講演会、講習会等の事業を実施しています。



●シニア健康スポーツフェスティバルTOKYO

都内在住59歳以上のシニア世代を対象に約2,500名が参加しており、毎年10月～11月を中心に、10種目開催され、翌年のねんりんピック東京都代表の選考を兼ねています。

シニア健康スポーツフェスティバルTOKYO 参加者からの声

シニア世代にとって、健康長寿の肝は“キョウイク”と“キョウヨウ”とのこと。「今日行くところがある」「今日用事がある」。私にとってもシニア健康スポーツフェスティバルTOKYOはキョウイクとキョウヨウの大きなイベントです。

シニア健康スポーツフェスティバルTOKYOのラージボール卓球大会で、良い成績を上げることを人生の目的として、病気の無い体づくり・故障の無い体づくり・ボケの無い脳づくりの3つの無い体づくりを心がけ、勝率を上げるためのコンディションづくりに努めて豊かで楽しい幸せな人生を送っております。

●全国健康福祉祭 (愛称：ねんりんピック)

高齢者の健康の保持・増進、生きがいの高揚並びに社会参加の促進を目的とし、高齢者を中心とする国民の健康づくり、生きがいづくりをすすめる全国健康福祉祭(愛称：ねんりんピック)へ、都内主管団体等からの推薦により、毎年約250名の東京都選手団を派遣しています。



地域におけるスポーツ振興体制の整備充実等に関する事業

ジュニア育成地域推進事業

地域におけるジュニアスポーツのすそ野を広げることを目的とし、区市町村の体育・スポーツ協会等が主体となって行う、小・中・高校生を対象とした初心者教室、スポーツ教室、強化練習会、大会等の実施を支援しています。



スポーツ少年団～青少年の健全な育成を目指して～

スポーツを楽しむだけでなく、学習活動、野外活動、レクリエーション活動、社会活動、文化活動などを通じて協調性や創造性を養い、社会のルールや思いやりのこころを学ぶ幅広い事業を実施しています。

- 地区スポーツ少年団本部の育成並びに組織強化
- 指導者、リーダー等の養成（育成）と研修
- スポーツ少年団交流活動の推進



スポーツ少年団大会



リーダー活動



ジュニア・リーダースクール

総合型地域スポーツクラブの育成支援

だれでも、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しむことができ、それぞれの地域において、スポーツの普及・振興やスポーツを通じた地域づくりなどに向けた多様な活動を展開するクラブの育成支援を行うとともに、登録・認証制度の事務局を担っています。

スポーツを通じた被災地支援事業

東日本大震災における被災地復興支援のため、スポーツの持つ力を活用し、被災3県（岩手県、宮城県、福島県）の方に夢や希望をもって、復興に向かっていただくことを目的に「スポーツ交流事業」、「東京マラソン高校生招待事業」など様々な事業を実施しています。



IV

その他事業

各種研修事業等

●スポーツ指導者（日本スポーツ協会公認コーチ1・2）養成講習会

地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等のコーチングスタッフや監督等として、安全で効果的な活動などを提供する、競技別指導にあたる者を養成しています。

●スポーツ指導者研修会（日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格更新研修）

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資質向上のため、スポーツにおける最新情報や指導者相互の情報交換等による指導者の学びの場としての研修会を開催しています。

●幹部中央研修会

本協会加盟団体の幹部役員を対象に、スポーツの普及・振興に関する最新かつ重要な課題に対し、

講演等の研修を通じてその認識を深め、更なる資質向上を図るための研修を実施しています。

●スポーツ・インテグリティ研修会

都内競技団体・指導者・選手等に対し、事故防止に資するための研修を実施しています。

※「スポーツ・インテグリティ」とは

スポーツにおける誠実性・健全性・高潔性のこと。ドーピングや八百長、違法賭博、暴力、ハラスメント、差別、団体ガバナンスの欠如等の不正が無い状態を指します。

●競技力向上事業研修会

国民体育大会に関係する監督・コーチ等指導者を対象に、アンチ・ドーピングや資質向上を目的にメンタルトレーニングやモチベーションの維持・向上等の研修会を年4回程度開催しています。



指導者養成講習会



スポーツ指導者研修会

東京都体育協会表彰

東京都のスポーツ振興を図るため、スポーツの振興・普及に貢献された個人や団体およびスポーツ活動において優秀な成績をおさめた個人や団体等スポーツに関する表彰を実施しています。

- 生涯スポーツ功労者・生涯スポーツ優良団体表彰
- 国体優勝功労者表彰等
- 体育優良生徒表彰
- 中学校・高等学校全国大会優勝者・優勝チーム表彰



体育優良章



表彰式

〈アクセス〉

東京メトロ銀座線：外苑前駅2b出口 徒歩5分
都営大江戸線：国立競技場駅A2番出口 徒歩10分

JR中央線・総武線（各停）：千駄ヶ谷駅 徒歩12分
JR中央線・総武線（各停）：信濃町駅 徒歩12分



公益財団法人
東京都体育協会

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square 10階

【総務課】	TEL：03-6804-8243	FAX：03-6804-8263
【スポーツ振興課】	TEL：03-6804-8121	FAX：03-6804-8263
【生涯スポーツ課】	TEL：03-6804-8122	FAX：03-6804-8244
【競技スポーツ課】	TEL：03-6804-8123	FAX：03-6804-8244